



杜こども園 たかせ

電話 64-0215

携帯 090-7411-0215

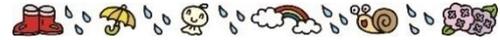
R4.5.30 発行

# 6月のえんだより

気温や天候が日々違い、体調管理が難しい季節ですが、天気に関わらず元気いっぱい遊んでいる子どもたちです。今年も燕が杜のいえの軒下に巣を作りました。「ちっちゃいね。」「かわいいね。」と燕の成長を日々楽しみにしています。是非、登降園の際お子さんと一緒に覗いてみてください。この時期ならではの自然に感心を持ちながら、今月も元気に過ごしていきましょう。



## 保育目標



すべてのものの生命の尊さをしり、生き物を大切にする

## クラス目標

- 《ぞう》梅雨時期の自然や生き物に触れながら、友だちとの関わりを深める。
- 《ぱんだ》身のまわりの自然物や小動物に興味関心を持ち、面白さや不思議さに気付く。
- 《うさぎ》生活の流れが分かり、身の回りのことを自分で行う。
- 《こあら》保育教諭や友だちと関わりながら遊ぶ。
- 《りす》梅雨時期の健康管理に留意し、元気に過ごす。



## 園長コラム



### 仏様の指・・・

新任当時、尊敬する先輩教師から子どもたちへの支援の仕方について「**仏様の指**」という話を聞き、とても感銘を受けました。次のような話です・・・

「ある時、仏様が道ばたに立っていると、一人の男が荷物をいっぱい積んだ車を引いて通りかかった。そこは、たいへんなぬかるみであった。車はそのぬかるみにはまってしまい、男は懸命に車を引くが車は動こうとしない。何度も何度も動かそうとするが、動かない。男が汗びっしょりになって苦しんでいた。仏様はしばらく男の様子を見ていた。男が再び動かそうと必死でがんばっている時、仏様はそっと指先で車に触れた。その瞬間、車はスッとぬかるみから抜け出て、男は車を引いて行った。」

この話では、男は「**仏様の指**」の力に助けられたことを知りません。自分が努力して、自分自身の力でぬかるみから抜け出すことができた<sup>と</sup>自覚し、その車を引いていったということになっています。

もし、その男が仏様の力でぬかるみから抜け出ることができたと知ったら、心から仏様に感謝したに違いありません。しかし、それでは、男が自分一人で成し遂げた自信や生きていく力を実感することはできなかったでしょう。

私の先輩は、そっとわからないように、気付かれぬように力を貸す、このようなかわり「**仏様の指（支援）**」こそが、子どもを育てる者にとって最も大切なことだと書いていました。それ以来、私は、仏様の指のような支援ができる存在（教師）になりたいと思いました。

それぞれの立場は違いますが、我々大人が、子どもたちの自立を促し、健やかな成長が成し遂げられるよう、仏様のような広い心と「**仏様の指（支援）**」で、子どもたちに気付かれることなく、そっと背中を押せるような存在になりたいものです・・・

園長 中村喜雄



# 6月の予定

1日 衣替え

1日は衣替えです。気温に合わせて衣服の調節をお願いします。引き出しの中の着替えの交換もお願いします。この時期は汗ばんだり、泥遊びなど着替える機会も増えてきます。衣服に名前がないと困ってしまいます。持ち物全てに記名をお願いします。園服は着用しなくて大丈夫です。



7日 歯科検診

サッカーの時に名札を付けますので園で預かります。

9日 サッカー

7日は歯科検診、29日は内科検診があります。出来るだけお休みしないようお願いします。

14日 坐禅



熱などで欠席の場合、流行性の病気や高熱でなく、その時間だけ来られるようならご協力お願いします。

16日 誕生会

22日 避難訓練

27日はプール開きです。子どもたちが密にならないよう遊び方を考えて楽しめるようにしていきたいと思います。

27日 プール開き

検温表は継続します。記入がない場合は、プール遊びが出来ませんので体温の記入を忘れないようお願いします。タオル等の準備するものについては後日お知らせが出ます。27日からは体温表の連絡事項の欄に、プールに入れる場合には○、入れない場合には×の記入をお願いします。

29日 内科検診



毎週水曜 英語で遊ぼう

